

大学間連携による 情報基盤BCPの実現

公益社団法人私立大学情報教育協会

1

「連携」のポイント

1. 目的・機能志向で始める
2. 「人」を大切に
3. トップが推進するプロジェクト

2

目的・機能志向で始める

1. 重要な情報を民間に預けて良いのか？
2. データのみならず、サービスごと継続したい
3. 同一目的の大学を選ぶ

3

「人」を大切に

1. スタッフの「教育」を戦略に据える
2. 「プロジェクトへの参加が能力を伸ばす」ことを体感させる
3. 大学間でスタッフの「交換研修」

4

トップが推進するプロジェクト

1. 学長同士の目的意識の合致
2. 協調するターゲットを明確に
 - 例. 情報戦略、IR、資産保護、事業継続、
セキュリティマネジメント
3. 法的契約関係を発生させない

5

実務上の問題点とその解決

1. 予算は分離
 - お互いの柔軟なシステム変更を妨げない
 - 但し、平常時と緊急時(容量逼迫など)では対応を分ける
2. インフラの接続はSINETを活用
3. 保存データの処理手続きはお互いを尊重
 - 例えば、データの盗難があっても責任視しない
4. 同一規模のシステム構成がベスト
 - 電気代負担も平等感

6